

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：数学、物理学、地球科学】

大 学 名	名古屋大学	整理番号	G - 3
拠点のプログラム名称	等式が生む数学の新概念		
中核となる専攻等名	多元数理科学研究科多元数理科学専攻		
事業推進担当者	(リ-ダ-) 宇澤 達 外14名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>現代数学の目標の一つは、具体的な問題の解決を通し概念を形成し、科学全体に共通な言語として提供することである。本研究計画では、重要未解決問題であるラングランズ予想、ミラー対称性予想に現れる等式の理解を通し、整数論、表現論、幾何学、数理物理学の四分野に共通の構造を見いだすことで数学における新概念、言語の提供を目指す。現在、この問題意識は世界的に見ても数少ないものであり、当拠点の特徴である。当プログラムでは数理科学の基本的概念が問題となっており、研究成果は数理科学全般に大きな影響を与える。問題の本質にせまる過程で、各分野の相互作用を目の当たりした若手研究者は、分野にとらわれない広い視野を持った次世代の指導的数学者となると期待している。日本、アジア、欧米を中心として有望な若手の参加を促すために博士後期課程を含めた教育環境を整備し、研究計画と合わせプログラムの両輪とする。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>目的指向型の拠点形成計画であり、大学としての支援体制の構想もしっかりしている。純粋数学研究の強力な伝統の中で、近年は数理物理学的思向が反映された業績もあがっており、そのような事業推進担当者の高い学問的能力が若手研究者の育成の拠点形成に強く結びつくことが期待できる。</p>			